

リゴマの自生地はまだ不明である。

最近原寛博士は岐阜県美山村伊住戸（イオウド）でセンリゴマが健在であることをみてこられた。岐阜県から静岡県奥地にはひろく栽培されているのでないかとおもわれる。学名は次のようである。

Rehmannia japonica (Thunberg) Makino in Journ. Jap. Bot. **8**: 24 (1932) pro syn.—*Melittis melissophyllum* (non. L.) Thunberg, Fl. Jap. 248 (1784)—*Melittis japonica* Thunberg in Trans. Linn. Soc. **2**: 338 (1794), Icon. Pl. Jap. **3**, tab. 8 (1801)—*Rehmannia glutinosa* Libosch. var., Makino in Iinuma Zōtei Sōmokudzushu **3**: 861, tab. 703 (1912)—*Rehmannia glutinosa* Libosch. var. *makinoi* Matsuda in Tokyo Bot. Mag. **32**: (140) (1918)—*Rehmannia glutinosa* Libosch. var. *japonica* Makino l.c. 24 (1932). (東大理学部)



Fig. 1. *Rehmannia japonica*. 水窪町向市場石本氏庭のセンリゴマ。

オイチリンソウは三葉輪生ではない（前川文夫） Fumio MAEKAWA: Pseudo-verticillate leaves in *Anemone nikoensis*

イチリンソウの花茎には3葉の輪生がみられるがこれは偽似的なものであることを最近知った。即ち下方に1葉（この腋に腋芽がつき1~2葉をつける）と上方に対生した2葉（この間に1花が頂生する）とが節間短縮し、また相互関連のためにはほぼ等角度に3葉をつけた見掛け上の輪生である。この構成は他の *Anemone* にも通じるかも知れない。(東大理学部)